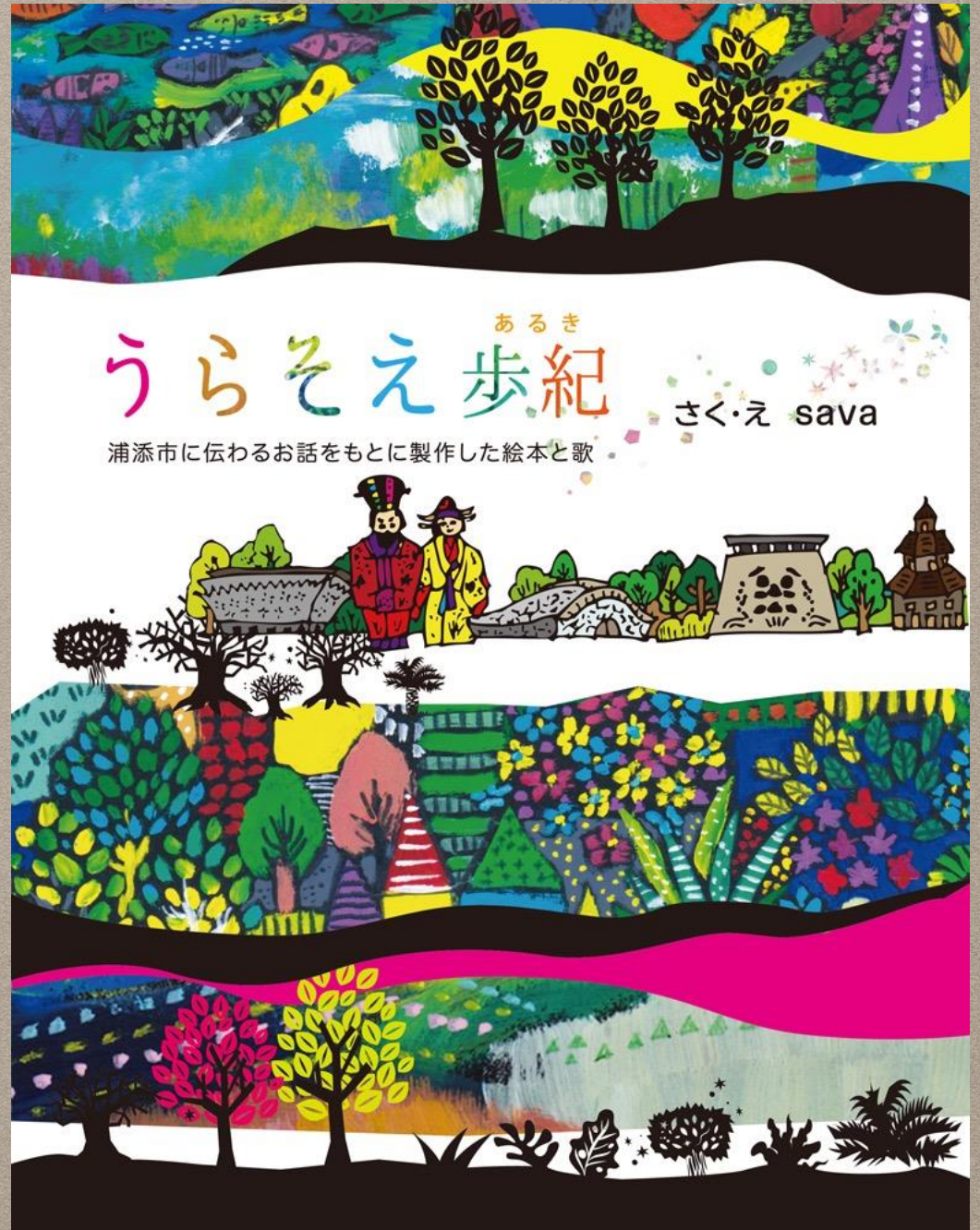


STUDIO
CHOCOGORILLA

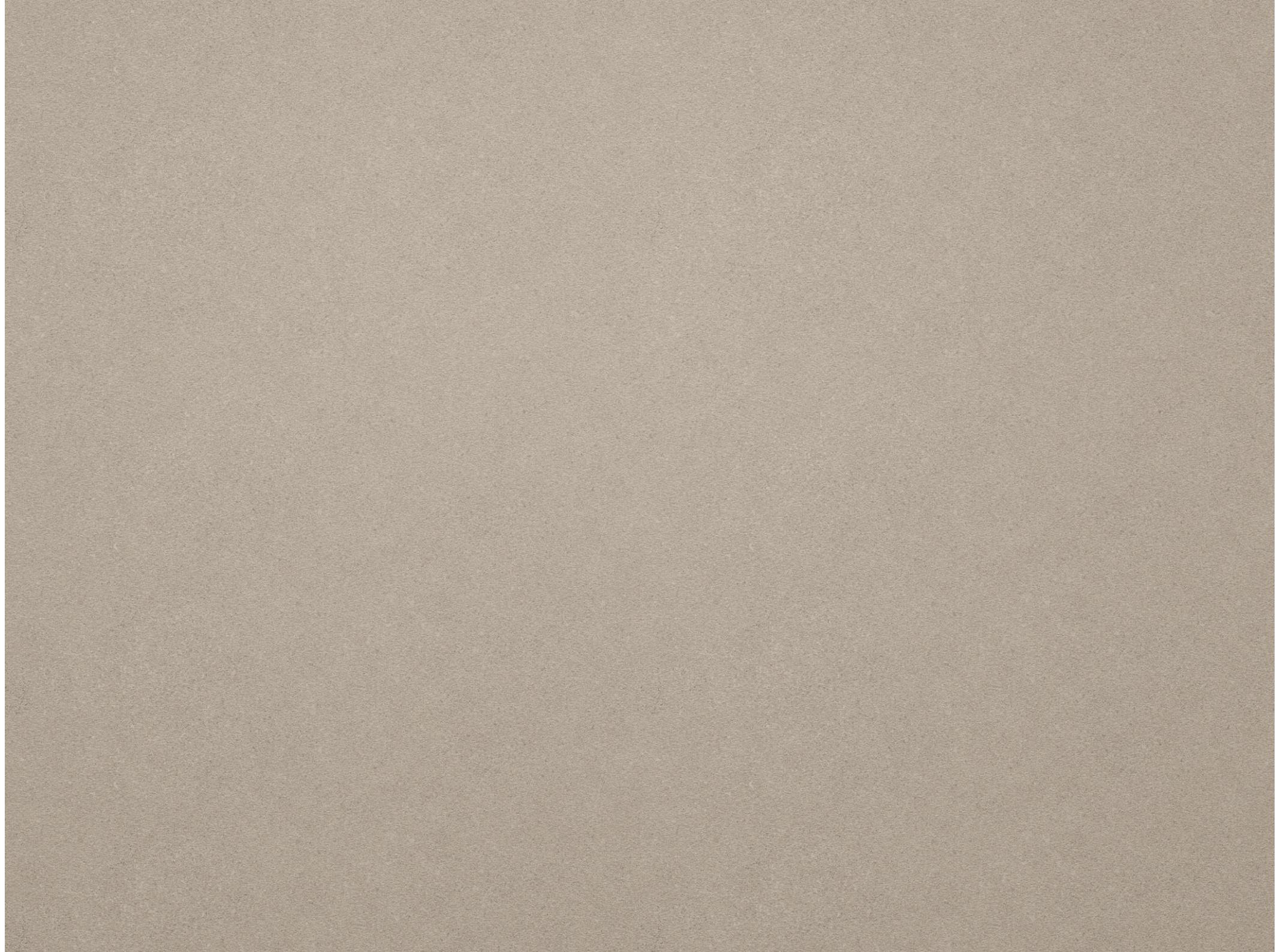


- ・ これまで浦添地域以外の各地のお話を絵本と歌で制作してきた。
- ・ 自分の住む浦添市の魅力をたくさん知って、こどもたちに伝えたいという思いから、浦添市の字や集落ごとの絵本を制作したいと考えた。



STUDIO chocogorilla まちづくりプラン賞 「3つの地域のえおん」 年間スケジュールと活動実績

	H27年8月	9月	10月	11月
活動計画	3地域の選定	お話を収集・調査	絵本・歌の製作	
活動実績	勢理客「獅子舞」・経塚「チョーチカチカ」・沢崎「若水くみ」に決定	勢理客「獅子舞」を取材・調査(十五夜祭に合わせ)	経塚「チョーチカチカ」を取材・調査・経塚にある沖縄療育園にて、絵本の絵本お披露目ショーの開催(11/1)	
参加人数・協力人数	浦添市図書館・てだこ市民大学を中心に、どこの地域を調べたいか調査。	浦添市図書館館長・勢理客の獅子舞保存会・勢理客保育園へお話を聞きに行く。	経塚自治会会長へお話を聞きに行き、知り合いが沖縄療育園に勤めていることもあり、沖縄療育園にて絵本の絵本ショーを開催→参加者約80名(通院者約30名職員約30名保護者2名)	



様式第7号(第6条関係)

収 支 精 算 書

収入の部

種目	決算額	計画額	増減	説明
助成金	109,000円	109,000円	なし	支出が増えたため
受賞者負担	10,951円	5,060円	+5,891円	
計	119,951円	114,060円	+5,891円	

支出の部

種目	決算額	計画額	増減	説明
印刷製本費	74,610円	58,680円	+15,930円	ハードカバー製本に変更したため
絵本カバー代	0円	2,700円	-2,700円	なしにしたため
CDプレス代	45,341円	40,000円	+5,341円	印刷費・CD-ROMの印刷方法を変更したため。
消耗品費	0円	8,480円	-8,480円	展示を実施しなかったため
チラシ印刷費	0円	4,200円	-4,200円	
計	119,951円	114,060円	+5,891円	

勢理客「獅子舞」の取材の様子



勢理客「獅子舞」の絵本ショーの様子@森の子児童センター



自作絵本を読み聞かせ

浦添 勢理客の獅子舞題材に



子どもたちに映像で自作の絵本の読み聞かせをするめぐさん(左)とsavaさん(右) 11月16日、浦添市勢理客、森の子児童センター

シロップドロップの2人

【浦添】浦添市勢理客のsavaさん、浦添市の森の子児童センターで11月16日、「シロップドロップ」による映像と歌と音楽を取り入れた読み聞かせが行われた。「シロップドロップ」は絵本作家である親子や、近隣の保

育園児、預かり保育の幼稚園生など約100人が訪れた。

savaさんが取材を通して制作した勢理客の獅子舞をモチーフにした「ぼくのまわりの十五夜」を、2人が電子ピアノの伴奏と効果音、映像を用いて紹介した。

子どもたちは「トントンプー」などの掛け声や、めぐさんの手遊びに合わせて共に「赤田首里殿内」の歌を歌い盛り上がった。

幼稚園生と1歳の子どもを連れて訪れていた下地恵さん(38)は「普段のような映像での読み聞かせを見る機会がないので、子どもたちも楽しそうだった。いい経験になった」と話していた。

savaさんは浦添市のまちづくりプラン賞の

助成を受け、地域に伝わる物語にする取り組みをしている民話や伝統芸能などをしている。



シロップドロップ

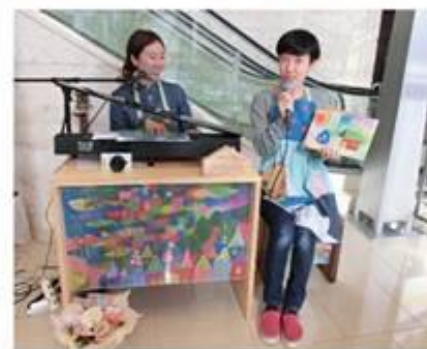
srop drop の えほんのせかい

うたっておどって
スクリーンからとびだす！
えほんのショー



2016
2/16 (火)
14:30~15:00
森の子児童センター

浦添市まちづくりプラン賞で制作した浦添市勢理客の
お話と歌の絵本『シーシーカンカン』のお話もやるよ！



STUDIO chocogorilla

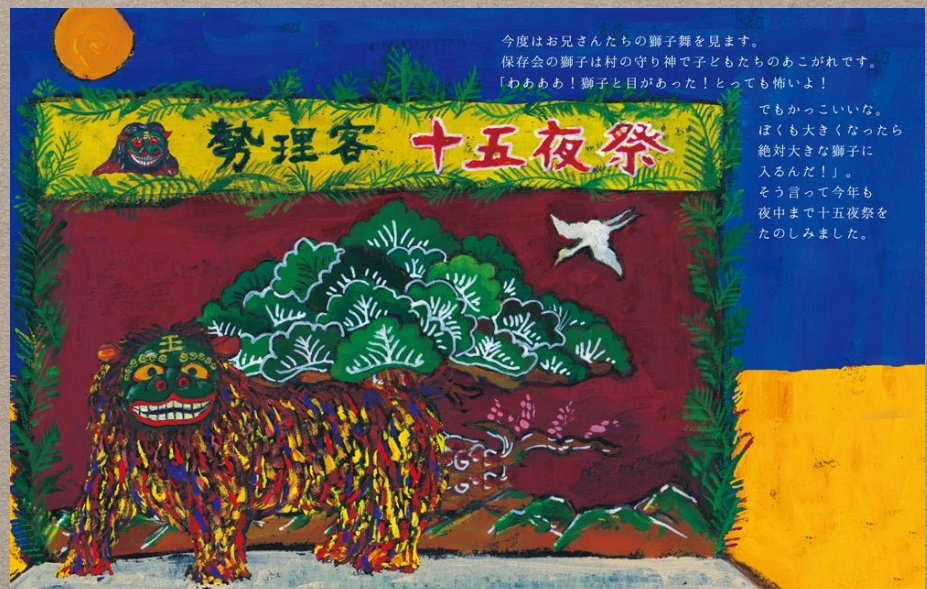
経塚「チョーチカチカ」の取材の様子



経塚「チョーチカチカ」の絵本ショーの様子



成果物



勢理客の獅子舞をつなぐ人々

勢理客獅子舞保存会の会長である具志堅全孝さんは、「毎年十五夜の2ヶ月ほど前から練習を始め、体力づくりから舞台設営、獅子のしっぽや呼吸まで、細部まで技を教える。最低3年の練習を積まないと舞台には立てない。先代が守ってきた獅子舞に恥じぬよう練習を重ねている」と語ります。勢理客の獅子舞にとって大切な意味を持つニホウという型を任されている富間君と奥儀君の二人も、学校や仕事後毎日練習に参加しています。難しい型でプレッシャーもあるが、勢理客の獅子舞をやっているという誇りがあると語ります。勢理客の獅子舞は、勢理客の人々にとって、信仰であり、心の拠り所でもあるのです。



絵本作家 Saba (さば)

千葉県出身。琉球大学教育学部島嶼文化教育コース卒業。沖縄県沖縄市の商店街に住みながら作品を製作し続け、沖縄市地域おこし協力隊の活動を経て、絵本作家に。現在は、地域に密着し、沖縄の地域に残る貴重な伝説を描き、絵本と歌にまとめた「あこなわ歩紀」を沖縄タイムスにて連載中。また、キャンパスから飛び出した絵本を日々研究し、これまで歌と絵本の映像作品「朗読えほん・演劇えほん」、空間に巨大絵本を装飾する「窓えほん」、バレエの発表会に絵本作品と身体表現のコラボレーション作品を発表した。絵本雑誌月刊 MOE 絵本スクール新人賞受賞、第68回沖縄グラフィックデザイン部門奨励賞受賞。 <http://chocogorilla.jp>

うらそえ歩紀・ぼくのまちの十五夜祭

2016年2月28日 第1刷発行

発行者 和田 瑞希

発行所 STUDIO chocogorilla (chocogorilla office)

印刷・製本 株式会社グラフィック

 **chocogorilla office**
 チョコゴリラオフィス★ <http://chocogorilla.jp>

本絵本は、
 平成27年度浦添市市制45周年記念事業
 市民の夢応援プロジェクト〜まちづくり
 ブラン賞への助成で制作したものです。

シーシーカンカン

さくし・さつきよく：sava

シーシーカンカン 獅子カンカン シーシーカンカン 獅子カンカン
 鳴らせよ 三味線 叩け ドラに太鼓 十五夜 満月 魔物を払え

シーシーカンカン 獅子カンカン シーシーカンカン 獅子カンカン
 厄をふみつけるぞ 大きな足でドンドン 十五夜 満月 村に幸せを

シーシーカンカン 獅子カンカン シーシーカンカン 獅子カンカン
 今夜は 朝まで 満月の下 踊るよ



成 果

浦 添 市 に る 地 域 の 魅 力 の 再 発 見

- ・ 普段見ることのない自治会史や地域への直接取材
- ・ 地域にいる方しか知らない歴史や伝統、こどもたちに伝えるべき大切な教訓など残っていることに気づくことができた



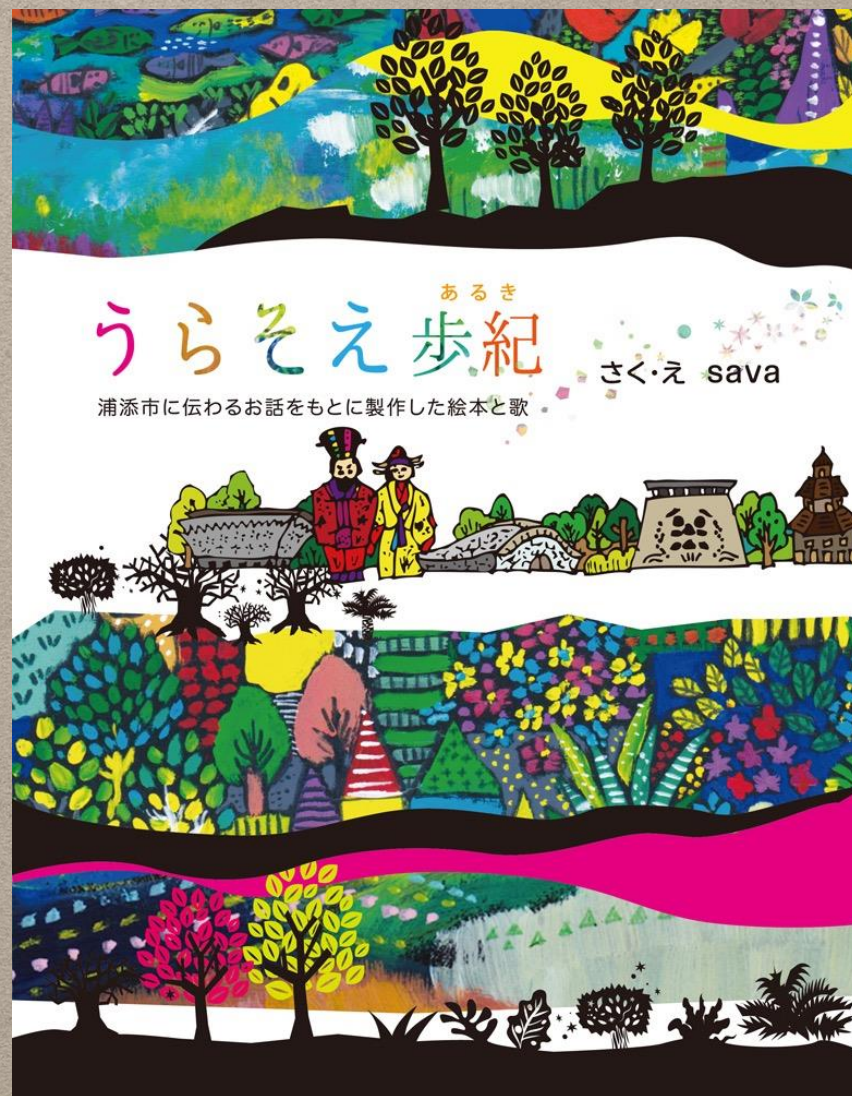
成 果

絵 本 と 歌 で 伝 え る

感

か り や す さ を 実

- ・ 自治会史や図書館での資料は一般の人が見る機会が少ない。こどもたちにとって絵本は親しみやすい
- ・ 歌も制作し、一緒に語り伝えることで、臨場感のある地域のお話として印象にのこる
- ・ 自分たちの地域のお話とうたができてうれしいという声
- ・ こんなお話が地域にあったんだ地域の魅力の再発見につながった



成 果

地 域 の 歴 史 や 伝 統 の ア ー カ イ ブ 化

- ・ 絵本と歌で地域の魅力をシリーズで絵本化することで、浦添史全体の歴史のアーカイブ化・伝統の継承の教材としての役割を担うことになる
- ・ 地域の誇りを視覚化することである

浦添市・勢理客
獅子舞 編



ほろのまちの 十五夜祭

浦添市勢理客に伝わる獅子舞は、国選択重要無形文化財に指定され、型の豊富さとその芸の細やかさが評価されています。公民館の目の前にある勢理客保育園では、約30年前から保育の一環で獅子舞を取り入れ、十五夜祭の舞台で地域の伝統芸能として獅子舞を披露しています。沖縄では類を見ない、終戦の年に祭りを復活させている勢理客の獅子舞は、勢理客の人々にとって、信仰であれ、心の拠り所でもあるのです。そんな村の守り神である獅子舞を絵本と歌にしました。



- ・ 予算と活動計画の見直し 一つ一つを丁寧に取材し、絵本と歌にまとめるのに対し、予算とスケジュールに無理があった。1年で2作品ほどしか制作できないと感じた
- ・ 絵本というイメージと制作物とのギャップ 絵本と聞いてイメージするのがページ数が多く各シーンごとに絵があるものでハード製本のもの。最初制作したものだ、ショーでやった時にこどもたちが飽きてしまった。そこで予定を変更をし、一冊に力を入れてページ数を増やした作品に予定を立て直した
- ・ 地域の魅力をまちがえて捉えないようにする 地域で外に出したいと思っていないセンシティブな問題を取り扱う際は、事実と本当にあっているのか入念に取材をすることと、地域の方の意見をしっかりと取り入れて絵本化したい

T H A O U

STUDIO
CHOCOGORILLA



うらそえ歩紀 えおん

作詞・作曲：sava

シーシカンカン